

平成29年度各部の重点課題の取組結果

部名	教育部
部長名	尾野 晋一
教育監	三浦 正

【基本方針】

義務教育を取り巻く環境は急速に変化しています。平成27年4月には「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部改正に伴い、地方教育行政の責任の明確化や迅速な危機管理体制の構築、首長との連携強化などが求められました。これを受け、平成27年度から総合教育会議が定期的開催され、平成26年3月策定の「柏原市教育振興基本計画」の後期計画（平成29年度から平成31年度まで）である改定版を今般策定し、この5月開催の第1回総合教育会議において市長が定める教育に関する「大綱」に位置付けられました。また、教科指導においては、道徳が特別な教科として小学校（平成30年度から）、中学校（平成31年度から）で開始されるとともに、小学校中学年（3,4年生）では「外国語活動」、高学年（5,6年生）では「外国語科」が平成32年度から導入されます。

このように教育改革の時代ですが、本市の教育理念「『かしわらっ子』はぐくみ憲章」（平成20年策定）にある「15の春にひとすじの意志をもったひたむきな姿勢をつらぬく若者の育成」を期して、「柏原市教育振興基本計画」に定めた4つの基本方針に基づく教育行政を市民と協力しながら推進していきます。なお、基本方針は以下の重点課題に位置づけています。

【達成度について】

- A: 達成（設定した目標を達成することができた。100%）
- B: 概ね達成（概ね目標どおり達成することができた。70%以上100%未満）
- C: 一部達成（目標の一部を達成できた。50%以上70%未満）
- D: 未達成（目標達成に向け取り組んだものの、目標達成にはいたらなかった。50%未満）
- E: 未実施（事業の取りやめなどにより評価不能又は困難。0%）

【重点課題】

	重点課題	平成29年度 達成状況
1	幼小中一貫教育を推進します。	B
2	知・徳・体の調和のとれた子どもを育みます。	B
3	社会全体で健やかな子どもを育みます。	B
4	安全・安心で、質の高い教育環境をつくれます。	B

部名	教育部
----	-----

重点課題 1	幼小中一貫教育を推進します。
--------	----------------

全体の達成度
B
概ね達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	①各中学校区で、幼小中11年間を見通した教育活動の充実を目指します。 ②本市一貫教育の発展した形となる施設一体型一貫校や、義務教育学校、コミュニティスクールの設置を目指します。
---------------------	---

活動目標
各中学校区で教員間連携、子どもの交流・連携、家庭・地域・学校の連携・協働を充実させます。
施設一体型一貫教育校、コミュニティスクール、義務教育学校について研究・調査し、設置に向け推進します。

具体的な取組実績
<ul style="list-style-type: none"> 市内全域で幼小中一貫推進教員を11名配置するなど、市教委として中学校区の教員連携を推進しました。また、各中学校区では教職員研修を年に複数回開催するなど、一貫教育の質の向上を図っています。 8月に児童生徒会サミットを開き、子どもの交流を深めました。 11月に教育月間を実施し、家庭・地域・学校の連携を深めました。
<ul style="list-style-type: none"> 本市での開設に向け、施設一体型一貫教育校、コミュニティスクール、義務教育学校について、教育委員会を中心として研修会・実践報告会等に参加するなど研究・調査に努めました。 施設一体型一貫教育校設置を視野に入れ、国分小学校と国分東小学校の統合を進めました。保護者等への説明会を4回開催しました。 コミュニティスクール、義務教育学校について、今後の開設に向け、校園長に理解と協力を求めました。

達成目標
各学校園長の成果報告や、各学校園の子ども、保護者、教員対象の学校評価、市民意識調査の「教育指導」の満足度を前回数値より高めます。
施設一体型一貫校、コミュニティスクール、義務教育学校について研究・調査し、設置に向け推進します。

達成状況	達成度
<ul style="list-style-type: none"> 市民意識調査の「教育指導」の満足度を前回数値より高めることができました。 	A 達成
<ul style="list-style-type: none"> 施設一体型一貫教育校、コミュニティスクール、義務教育学校について研究・調査した内容の、市内全域の保護者・市民に向けた丁寧な周知はできませんでした。また、施設一体型一貫教育校を除き、詳細な年次計画もお示しできませんでした。 国分小学校と国分東小学校の統合については、保護者、地域に丁寧に説明し、一定の理解は得られました。 	C 一部達成

総合評価・総括
<p>市民意識調査では、「教育指導」の満足度と重要度の乖離が大きいことが読みとれます。そこで、この改善に向けて今後も取組みを進めます。</p> <p>幼小中一貫教育では、各中学校区で目指す子ども像の共有化を図り、その実現に向けた取組み（小中教員の交流授業・交流研修、幼小中合同体育大会・小中合同遠足・小中合同あいさつ運動等の合同行事、地区懇談会、地域文化交流会など）が着実に積み上げられ、一定の成果が見られます。そこで、今後も幼小中一貫教育の推進を重点課題として取組みを進め、本市教育活動の充実を図る中で「教育指導」の満足度の向上につなげます。</p> <p>また、子どもたちを取り巻く環境の変化により、学校が抱える課題も複雑化・困難化しており、学校だけの取組み・工夫だけでは教育活動の充実はととも難しくなっています。そこで、今後、スピード感を持って丁寧な情報を周知することに努める中で保護者や地域との連携・協働を図り、その中で「教育指導」の満足度の向上を図るとともに、コミュニティスクール、義務教育学校の設置に向けた取組みを推進します。</p>

部名	教育部
----	-----

重点課題 2	知・徳・体の調和のとれた子どもを育みます。
--------	-----------------------

全体の達成度
B
概ね達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	<p>家庭、地域、学校が連携・協働して、以下に取り組みます。</p> <p>①「確かな学力」：個に応じた指導を通して、「全国学力・学習状況調査」や府の「チャレンジテスト」、市独自の「かしわらっ子はぐくみテスト」などで、継続的に府や全国の平均以上の結果を目指します。</p> <p>②「豊かな心」：人権教育や道徳教育、キャリア教育の充実を通して、いじめ、不登校等の問題行動の減少を目指すとともに、夢や志をはぐくむ教育活動の充実を目指します。</p> <p>③「健やかな体」：学校保健体育、学校給食の充実により、将来にわたり、体や健康に留意し自己管理できる力の育成を目指します。</p>
---------------------	---

活動目標
市独自で児童の学力とその個性や心の有り様も調査する「かしわらっ子はぐくみテスト」を継続実施し、効果的な活用により、学力向上と個性の伸長等につなげるよう学校を指導します。なお、平成32年度より始まる小学校英語科については、スムーズに開始できるよう丁寧な準備を進めます。
平成30年度から始まる「特別の教科道徳」が円滑にスタートできるよう、丁寧な準備を行います。また、いじめ問題については、命に関わることもあるため、未然防止、早期発見、早期対応等、学校園の取組みを支援していくとともに、様々な機会を利用して啓発を図ります。
各学校で学校保健委員会が円滑に開催できるよう連絡・調整します。安心・安全な学校給食の実施を通して、食育の充実を図ります。

具体的な取組実績
<ul style="list-style-type: none"> ・12月に小学校1年生から6年生まで「はぐくみテスト」を実施し、効果的な活用となるよう各学校を指導しました。 ・11名の幼小中一貫教員の内5名を「英語教育推進教員」と位置付け、小学校英語導入の準備をすすめました。 ・小学校全教職員に対して「英語教育研修」を9回実施しました。 ・ALT（外国語指導助手）の中学校区での効果的な活用（「英語村」開催含む）により、小学校での英語教育の充実を図りました。
<ul style="list-style-type: none"> ・「特別の教科 道徳」の導入に関し、市教委主催の教員対象研修を8回実施するとともに、市教委の支援により各学校主催の研修も充実できました。 ・いじめの早期発見、早期対応のため、全児童生徒対象に2回のアンケートを実施しました。また、いじめ防止啓発チラシを全保護者に配付しました。このチラシは必要に応じて複数回の配付を各学校に求めています。加えて、8月の「児童生徒会サミット」においても、いじめ問題を取り上げ未然防止に努めました。 ・「柏原市いじめ問題対応委員会」を3回開催し、本市のいじめ問題への取組みの質の向上を図りました。
<ul style="list-style-type: none"> ・学校保健委員会については小中学校16校で設置し、14校で開催し、校区の子どもたちの健康について情報共有できました。 ・全小中学校において、大きな問題もなく継続的に学校給食を実施できました。また、各学校は給食をとおして食育を進めています。

達成目標
<ul style="list-style-type: none"> ・各学校園長の成果報告や、各学校園の子ども、保護者、教員対象の学校評価、市民意識調査での「教育指導」満足度を前回数値より高めます。 ・全国学力・学習状況調査や府のチャレンジテストの各教科・区分における本市の平均正答率が、大阪府の平均正答率を上回ります。

達成状況	達成度
<ul style="list-style-type: none"> ・市民意識調査での「教育指導」満足度を前回数値より高めることができました。また、各学校園の成果報告、学校評価においても解決困難な問題はありません。 ・全国学力状況調査において小学校国語A・算数A、中学校国語Aにおいて大阪府の平均正答率を上回ることができました。 ・中学生対象のチャレンジテストでは、3教科実施の1年生は2教科で、5教科実施の2年生と3年生は2教科で府の平均正答率を上回りました。 	<div style="font-size: 2em;">B</div> 概ね達成

総合評価・総括
<p>本市では知・徳・体の調和のとれた「生きる力」の育成を目標に教育活動を展開しています。中でも、本市の課題である「知」に関しては「すべての子どもたちに確かな学力を！」を目標に着実に取組みを進め、市全体の学力は改善傾向にあります。しかし、「全国学力・学習状況調査」の結果では全国平均レベルに達していない分野もあります。そこで、平成30年度はさらに取組みの充実を図り、「確かな学力」の育成に努めます。</p> <p>なお、「徳・体」に関しては、子どもたちの現状を踏まえた上で効果的な取組みを推進し、本市の学校教育基本目標である「全ての子どもに生きる喜びと、たくましい力を」獲得できる教育活動を推進しています。</p>

部名	教育部
----	-----

重点課題 3	社会全体で健やかな子どもを育みます。
--------	--------------------

全体の達成度
B
概ね達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	①子どもの成長には、学校だけでなく、家庭や地域社会との関わりが大きく影響を及ぼします。そのために青少年の健全育成に取り組みます。 ②スポーツによる健康増進を図るため、身近な地域で気軽にスポーツに親しめる機会と施設の充実に努めます。 ③子どもから高齢者まで、多様な学習環境を整えるため生涯学習の充実に取り組みます。
---------------------	--

活動目標
青少年健全育成活動として、通学時の見守り活動や放課後子ども教室（のびのびルーム）の開催、更には通学合宿をボランティアの協力を得て実施します。
生涯スポーツの場として、「スポーツフェスティバルin柏原」や「柏原シティキャンパスマラソン」等を開催し、更にはサンヒルの庭球場と屋外プールの指定管理者による管理や恩智川遊水地内での新たな市民スポーツ広場（グラウンド）の整備を進めます。
公民館、図書館、歴史資料館、更には自然体験学習施設等を活用して、様々な催しや講座等を開催することで前年以上の利用を促進します。

具体的な取組実績
<ul style="list-style-type: none"> ・327名の登録ボランティアによる通学時の見守り活動を実施 ・放課後子ども教室（のびのびルーム）155回開催（H29年12月末現在） ・堅下南小学校児童9名（4～6年生）の参加及びボランティア19人の協力により通学合宿を実施（H29.9.24～26）
<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツフェスティバルin柏原への参加者数は、3,777人 <ul style="list-style-type: none"> ・柏原シティキャンパスマラソン（H30.2.18開催）参加者725人 ・H29.7.1から指定管理者による市立サンヒルスポーツセンター（屋外プール及びテニスコート）を開場し、入場者数：屋外プール13,870人（うち有料入場者13,227人）、テニスコート10,180人（H30.1月末現在） ・（仮称）恩智川多目的遊水地市民スポーツ広場の整備内容の確定及び工事事業者との仮契約締結
<ul style="list-style-type: none"> ・公民館（本館、堅下分館、国分分館）の利用者数は、77,584人（H30.1月末現在） ・市民文化祭（10月7～22日開催）参加者12,327人 ・図書館の利用者数（H30.1月末現在）は、94,648人（うち柏原図書館：51,974人、国分図書館：42,674人） ・歴史資料館の来館者数（H30.1月末現在）は16,667人 ・龍田古道の里山公園（スマイルランド）入場者数及びキャンプ施設等の利用者数（H30.1月末現在）はそれぞれ12,073人と23,003人となっています。

達成目標
<ul style="list-style-type: none"> ・市民意識調査の「青少年の健全育成」や「スポーツ振興」、「生涯学習」の満足度を前回数値より高めます。 ・社会体育施設や生涯学習施設の利用状況等について、前年度数値を上回ります。

達成状況	達成度
<ul style="list-style-type: none"> ・市民意識調査のうち「青少年の健全育成」の満足度が3.42、「スポーツ振興」が3.21、「生涯学習」が3.10となり、いずれも満足度が前回調査より0.05から0.17ポイント高まりました。 ・社会体育施設や生涯学習施設の利用状況等については、悪天候（台風や雨天）による影響を除けば前年度を上回りました。 	<div style="font-size: 2em; margin-bottom: 10px;">B</div> 概ね達成

総合評価・総括
<p>子どもの成長には、学校、家庭及び地域社会との関わりが重要なことを踏まえ、今年度も通学時の見守りや子どもの居場所となる放課後子ども教室の開催、通学合宿などを実施しました。またスポーツを通じて健康増進を図るため、新たに市立サンヒルスポーツセンターや（仮称）恩智川多目的遊水地市民スポーツ広場の整備など身近で気軽にスポーツに親しめる施設の充実に、さらには子どもから高齢者まで、多様な学習環境を整えるため生涯学習の充実に取り組みました。今後も継続して各事業を継続していきます。</p>

部名	教育部
----	-----

重点課題 4	安全・安心で、質の高い教育環境をつくりま す。
--------	----------------------------

全体の達成度
B
概ね達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	①安全・安心な学校施設の環境整備に向けては、中学校校舎の耐震化の完了や小中学校の普通教室への空調設備の設置、トイレの洋式化を含むトイレ改修などを進めます。 ②小・中学校の適正規模・適正配置基本方針に基づき、保護者や地域住民の理解と協力を得ながら小・中学校の再編を進めます。 ③教育の機会均等とその確保に向け、支援を必要な児童・生徒へは人的及び経済的な援助を行います。
---------------------	---

活動目標
柏原中学校の校舎耐震化工事及び堅下北中学校の普通教室への空調設備の設置を完了し、他の5中学校の空調設置に係る設計業務を行います。
小・中学校の適正規模・適正配置につきましては、国分中学校区の小規模化しています国分東小学校の保護者や校区住民への現状説明や意見交換等を開始します。
支援を必要とする児童・生徒には必要な教員や介助員等を配置し、経済的な支援として就学援助や支援教育就学奨励費を適正に支給します。

具体的な取組実績
柏原中学校の校舎耐震化工事は完了し、普通教室への空調設備については、堅下北中学校への設置工事並びに他の5中学校の設計業務はともに終了しました。
小・中学校適正規模・適正配置基本方針に基づく国分東小学校と国分小学校の統合に向けての説明会については、国分東小学校のPTA役員会、健全育成会及び保護者全体へ、更には国分小学校の健全育成会及びPTA役員会を対象に開催しました。
小・中学校への介助員を小・中学校に合わせて48名を配置しました。また、772名に対して就学援助費を支給し、69名には支援教育就学奨励費を支給しました。

達成目標
市民意識調査の「教育環境」の満足度を前回数値より高めま す。

達成状況	達成度
市民意識調査の「教育環境」の満足度は、前回の3.09から3.24へ改善 しました。	B
	概ね達成

総合評価・総括
安全・安心な学校施設の環境整備に向けては、市内中学校の校舎耐震化が今年度に完了しました。また、小中学校の普通教室への空調設備の設置につきましては、今年度に1中学校に設置が完了し、その後平成32年度にかけて中学校から小学校へ順次整備を進めていきます。一方で少子化に伴い児童・生徒が減少する中、小・中学校の適正規模・適正配置が進める必要があります。今後も適正規模・適正配置基本方針に基づき、保護者や地域住民の理解と協力を得ながら小・中学校の再編を進めます。